

あの頃、僕たちは  
魂の絆で結ばれていた...

昭和31年(1956年)

敗戦から10年が経ち日本が貧しさから脱却し  
再び国際社会への仲間入りを果たそうと  
していた頃東京の下町で日本人の心の  
ふるさととも言える「童謡」を歌い継いで  
いこうとした先生と子どもたちがいた――。

文部科学省選定(少年向・青年向・家庭向)

厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財

第12回リヨン・アジア映画祭 グランプリ受賞作品

アニメーション部門

子ども映画部門

W受賞作品



劇場用長編アニメーション映画第2作 監督・脚本:西澤 昭男

# ふるさと-JAPAN

## 視聴覚ライブラリー用・学校用 DVD

本編: 98分/カラー・日本語・2chステレオ  
特典映像: 30分

- 西澤監督インタビュー(聞き手:堤信子)
- メイキング・CGメイキング/音楽シーンメイキング 他
- ワオ・コーポレーション作品集(予告編集)

ライブラリー価格 ●団体貸出・館外上映権付

¥63,000(税込)

学校価格 ●個人貸出・校内上映権付

¥31,500(税込)



■戦争末期に特攻隊で死んでいった若者、そして平和時に海の事故で死んでしまった少女—。彼らの無念さや思いを、残された人々はどのように受け継いでいったらいいのか。『ふるさと—JAPAN』は、先生と子どもたちの“魂の絆”を描いた物語です。

■子どもはもとより、大人の鑑賞にも耐えられるアニメーション映画を作りたかった。そして映画を通じて、日本の文化や伝統、日本人の心について、感じたり考えたりする機会を提供したかった。

西澤昭男監督談

太平洋戦争が終わって10年余りが経過した昭和31年の春。東京・深川の木場の小学校に、坂本理恵子という名の新しい先生が赴任してきた。時を同じくして、6年4組に神戸からの転校生・宮永志津がやってきた。歌手になるという夢を持つ、明るく美しい女の子だった。スポーツも勉強もできる志津はたちまちクラスの人気者になる。そんな志津を、学級委員長でクラスの中心的存在である建具屋の息子・アキラも、強く意識するようになる。

坂本先生は、年末に開かれる地区合唱大会での優勝を目標に掲げ、6年4組からは、志津や彼女と仲のよい、君代・ヒカル・ヤヨイ・そしてアキラや医者の子で秀才のハカセらがメンバーとして選ばれる。実は坂本先生は、特攻隊で亡くなった兄から「教師になって童謡を子どもたちに伝えてほしい」という遺言を受けて、音楽教育にとりわけ強い情熱を持っていたのだった。

ガキ大将だがどこかに影を背負っているゴン、アキラの遊び仲間のヨシオやテル、メンバーには選ばれなかった子どもたちも合唱大会への参加に胸を躍らせる。

しかし、アキラやゴンたちが起こした万引き事件が発覚し、先生たちの厳しい判断で、合唱大会への参加は中止に。しかも、夏休み中の海の事故で、志津が突然亡くなってしまう。

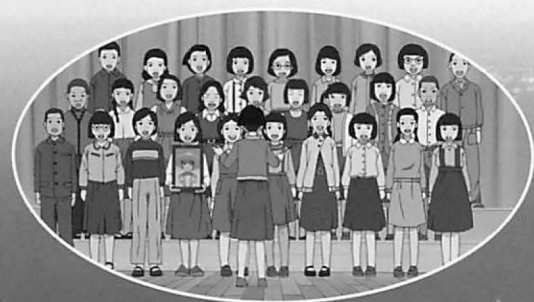
アキラは、志津の気持ちを思いはかり、ゴンの強い勧めにしたがって、もう一度合唱大会に出られるよう校長に掛け合うのだった。

第一作「NITABOH」により、第10回ソウル国際アニメ映画祭でのグランプリのほか、海外で高い評価を得た西澤監督による第二作目の劇場用長編アニメーション。



前作に引き続き音楽とアニメの融合を目指したこの作品では、日本有数の児童合唱団による「故郷」「赤とんぼ」「浜辺の歌」「月の沙漠」の合唱を採用。盲目のテノール歌手新垣勉「荒城の月」と世界の歌姫 KOKIA「歌う人」とのコラボレーションも行われた。

監督・脚本：西澤 昭男 / ゼネラルプロデューサー：村上匡宏  
企画・公式WEBサイトプロデュース：西澤真佐栄 / 演出：飯島正勝  
絵コンテ：古谷漢一郎 / キャラクターデザイン・総作画監督：釘宮 洋  
美術監督：工藤ただし / 撮影監督：吉田光伸 / 編集：後藤争司  
CGディレクター：八木下浩史 / 音楽監督：クリヤ・マコト  
音響監督：塩屋 翼 / 音響効果：倉橋静男  
エンディング・テーマ曲：KOKIA「歌う人」(ビクターエンタテインメント)  
挿入歌：美空 ひばり「東京キッド」(コロムビアミュージックエンタテインメント)  
新垣 勉「荒城の月」(アットマーク)  
製作：ワオ・コーポレーション / 制作：ワオワールド  
文部科学省選定 (少年向 / 成人向 / 家庭向)  
ヨーロッパアンビスタ・サイズ / ドルビーデジタル / 上映時間：1時間38分



ワオ・コーポレーション  
創立 30 周年記念作品

ふるさと—JAPAN

公式WEBサイト <http://www.furusatojapan.com/>

販売元

 東映株式会社 教育映像部

関東営業推進室 東京都中央区銀座 3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631  
関西営業推進室 大阪市北区梅田 1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026  
広島出張所 広島市中区八丁堀 16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066  
福岡出張所 福岡市博多区中洲 4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

お買い上げは・・・

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101